

ゆ

やさしく  
すべてに 優  
ゆとり  
いつまでも 悠 ある  
ばしょ  
やすらぎの 邑 を実現します



2023  
新年 号

「今日も楽しかった」と  
言っていただけのように…



2023年

新年の  
ごあいさつ



社会福祉法人 杉和会

特別養護老人ホーム 優・悠・邑

理事長・総合施設長

若山 宏

新年あけましておめでとございます。

この3年間はコロナ感染症による対策に明け暮れボランティア活動にしても家族等による面会にしても条件を示してのものしか出来ないもどかしさを覚えながらの中『ウイズコロナ』としての提案実践として各フロアに分けての企画を提案し実践してくれている職員の姿に頼もしさを覚えていきます。特に昨年8月には本部施設において職員が手作りの本格的な神輿を作成して地域を練り歩くイベントが出来たのは『地域と共に歩む』の理念を示す事が出来たのは素晴らしいものであったと思っています。

さて、ロシアによるウクライナ侵攻に伴う物価高騰による経営に対するひっ迫に対しては節約すべき所は節約しつつも必要な物にはしっかりとお金を掛けていく。また、人材の確保と質の向上に今迄以上に力を入れていきたい。具体的には資格取得や研修への参加を積極的に援助すると共に幹部会、委員会の充実にも力をいれていく。

最後になりましたが、職員と共に精一杯頑張っていますので今年もよろしくお祈りいたします。そして、皆様様にとって幸多き一年であることを祈念しております。

特別養護老人ホーム 優・悠・邑

副施設長 水野 貴子

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

世界においても日本の国でもいろいろな事件・災害などがあり、改めて今までの幸せを思わずにはいられません。困難は解決策が伴っているとも言われますが、その中にいるときは必死になって色々と苦しんでいるように思います。

過ぎてみれば懐かしく感じられることも多いです。そして今までと違う新たな一步を踏み出していくのです。施設も感染対策に追われたこの3年間、入居者利用者様にはそれまで行ってきたいろいろな行事やイベントも最小限となりました。

そんな中でも本部施設では楽しい1日を過ごしていただきたいと職員が入居者の笑顔を引き出す工夫してまいりました。今年も職員一人一人の力を発揮してもらいながら頑張っていきますので、本年もよろしくお祈りいたします。



特別養護老人ホーム 優・悠・邑 和合

施設長 佐藤 道夫

明けましておめでとうございます。皆様にとつて今年一年が健やかで心穏やかな年でありますよう心からご祈念申し上げます。

昨年末には私どもの施設(優・悠・邑和合)に置きまして大規模な新型コロナウイルス感染症の陽性者を多く発生させてしまいました。入居者様、またご家族の皆様には多大なご負担とご心配をお掛けすることになり、心からお詫び申し上げます。今回の新型コロナウイルスはこれまでとは明らかに異なる感染力を持ち、検討し対策を講じてきた感染防御策を易々と崩される事態に陥った次第です。(この原稿を書いている)現在は、ようやく落ち着きを見せ初めてきたところです。

施設の最大の使命は利用者様の安心安全であることは申すまでもありません。新年に当たって、改めてこうした使命の実現を最重要課題に据え、今回の事案の検証作業を全職員で取り組み、レベルアップした感染防御を実現したいと考えています。

今後とも関係されます皆様方のご意見を頂きながら、より良い施設運営を行ってまいる所存でありますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

新しい年が「コロナなき」一年となりますことを祈念いたします。



特別養護老人ホーム 優・悠・邑 和合

副施設長 若山 誠

新年明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては新春を健やかに迎えられましたこととお慶び申し上げます。

昨年は3年目となったコロナ禍の中、当施設においても夏と年末に新型コロナウイルスのクラスターを発生させてしまう事となり、入居者様ならびにご家族様に多大なるご迷惑とご心配をお掛けしました事を深くお詫び申し上げます。

この3年間は新型コロナウイルスの影響で様々なイベントを中止せざるを得ない状況が続きました。その中でも入居者様への楽しみを提供するべく、縮小して開催したものや、新しい試みとしてオンラインで開催したものもあります。

本年も今まで以上に感染対策に留意しながらも、法人の基本理念である『全てに優しくいつまでも悠あるやすらぎの邑を実現します』に向けて「今日一日、楽しかったよ」と言って頂ける施設を目指して参りますので、何卒よろしくお願いたします。

盲養護老人ホーム 優・悠・邑 和(なごみ)

施設長 吉澤 進治

新年明けましておめでとうございます。

入所者の皆様、ご家族の皆様、日頃ご支援いただいている皆様、良い年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年もコロナ禍の中、職員一同気を抜かずお互いに情報共有しながら、助け合い過ぎた一年でした。盲養護老人ホーム優悠邑和も約2年が経過し、大きな取り組みはできていませんが入所者の皆様笑顔になれるよう職員みんなで工夫し、楽しみを見つけて過ごしてまいりました。

今年は、まだ続くであろうコロナウイルス感染症という大きな課題を抱えながら、盲養護老人ホーム優悠邑和がより良くなるよう職員一同努力を続けていきたいと思っております。

本年もどうぞよろしくお願致します。

